

令和7年度
専攻科学生募集要項
(追加募集)

独立行政法人 国立高等専門学校機構
東京工業高等専門学校
National Institute of Technology ,Tokyo College

令和7年度 専攻科学生募集要項(追加募集)

1 アドミッション・ポリシー(入学者の受入れに関する方針)

本専攻科では、学習・教育目標の国際化・複合化に対応できる技術者を育成することを目標に、次のような入学者を求めます。

- (1) 工学の基礎を修得し、実践力、創造力、研究開発力の素養を有している人
- (2) さまざまな課題に主体的に取り組む意欲のある人
- (3) 自己表現や他者理解などを積極的に図ることができる人

◇入学者選抜の基本方針

上記アドミッション・ポリシーに合致した選抜方針としています。

(1) 推薦による選抜

出身高等専門学校長から推薦された志願者のうち、一定水準以上の基礎学力を身につけ、かつ主体的・継続的な学習意欲とコミュニケーション能力を有し、本専攻科への入学意志が強い志願者を選抜する。

(2) 【学力による選抜】

一定水準以上の基礎学力を身につけ、かつ主体的・継続的な学習意欲とコミュニケーション能力を有する志願者を選抜する。

(3) 社会人特別選抜

企業などにおいて一定以上の在職期間を有し、一定水準以上の基礎学力を身につけ、かつ主体的・継続的な学習意欲とコミュニケーション能力を有し、本専攻科への入学意志が強い志願者を選抜する。

2 募集人員と試験区分

追加募集の選抜は、機械情報システム工学専攻のみで、「学力による選抜」となります。

試験区分	募集人員
学力による選抜	機械情報システム工学専攻 4名程度

3 入学者選抜関係日程

学力による選抜	検定料納入期間	令和 6年 9月24日(火) ~ 10月 2日(水)
	出願書類受付期間	令和 6年10月 1日(火) ~ 3日(木)
	選抜試験日	令和 6年10月15日(火)
	合格者発表	令和 6年10月23日(水)
	入学確約書提出期限	令和 6年10月31日(木)

4 応募書類と提出された個人情報の利用範囲

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報、及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

5 障害等を理由に合理的配慮の提供を希望する者の出願

東京工業高等専門学校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び、「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障害等による支援ニーズのある学生に対して、受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに学生課教務係までご相談ください。

なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、選抜試験日直前の相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、学生・生徒とその保護者及び、在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。また、入学者選抜試験の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まとめ）」によって示されている、次の説明資料等が該当します。

- (1) 障害者手帳の種別・等級・区分認定
- (2) 適切な医学的診断基準に基づいた診断書
- (3) 標準化された心理検査等の結果
- (4) 専門家の所見
- (5) 出身学校等入学前の支援状況に関する資料
- (6) 本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等

※根拠資料に関しては提出の要不要に関しても入試担当窓口までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、担当係において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

[お願い]

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。入試後、または入学後に合理的配慮に関して初めて申請なさると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。

なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

相談窓口 学生課教務係

(電話番号) 042-668-5372・5127

(F A X) 042-668-5092

(M A I L) kyoumu@tokyo-ct.ac.jp

6 その他の注意事項

- (1) 出願後に配付する「受験者心得」をよく読んで試験会場においでください。会場では係員の指示に従ってください。
- (2) 受験者のための宿舎斡旋は行っていません。
- (3) 出願手続等、入学者選抜に関する事務については、すべて下記において取り扱います。

〒193-0997

東京都八王子市栢田町 1220-2

東京工業高等専門学校 学生課教務係

電話 042-668-5127

※祝祭日を除く月～金曜日 9:00～13:00、14:00～17:00

学力による選抜

1. 出願資格

入学者選抜の日から遡って 2 年以内に、TOEIC® Listening & Reading 公開テスト(以下「TOEIC 公開テスト」という。また、これには TOEIC-IP テストは含まない。)において 400 点以上のスコアを取得している者で、かつ次のいずれかに該当する者

- (1) 高等専門学校を卒業した者又は令和 7 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者又は令和 7 年 3 月卒業見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者又は令和 7 年 3 月に卒業見込みの者のうち学校教育法第 132 条の規定により大学に編入学することができる者
- (4) 外国において、学校教育法における 14 年の課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 14 年の課程を修了した者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における 14 年の課程を修了したとされるものに限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (7) その他、専攻科において高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

2. 出願手続

(1) 願書受付

期 間： 令和 6 年 10 月 1 日(火) ～ 3 日(木)

なお、郵送の場合は令和 6 年 10 月 3 日(木) 午後 4 時 00 分必着とします。

時 間： 午前 10 時 00 分～午後 16 時 00 分まで(午後 1 時 00 分～2 時 00 分は除く)

場 所： 東京工業高等専門学校 学生課教務係

※郵送の場合は、必ず簡易書留とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書きしてください。

また、返信用封筒(サイズ長形 3 号 120×235mm)に、460 円切手(簡易書留による返信分)を貼付したものを同封してください。

(2) 出願書類

出願書類	適 用
入学志願書 写 真 票 受 験 票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、受験者本人の写真を貼付してください。 なお、使用する写真は出願前3ヶ月以内に撮影した、正面・上半身・脱帽・マスク未着用・無背景のものとし、カラー・モノクロの別は問いません。
調 査 書	本校所定の用紙を使用して出身学校長又は学長が作成し、厳封したものに限り、調査書とあわせて成績証明書も添付してください。 出願資格(3)により出願する者は、以下の書類も併せて提出してください。 <ul style="list-style-type: none"> • 専修学校が発行する修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が 1,700時間以上の専門課程を修了したことを証明する証明書 • 専修学校の専門課程の学科の分野や履修内容が確認できる書類 出願資格(4)～(7)により出願する者は、出願資格にかかる最終学校の成績証明書をもって代えます。

英語能力に関する書類	<p>①選抜期日から起算して2年以内に取得したTOEIC公開テストの「デジタル公式認定証」(TOEIC申込サイトよりデジタル公式認定証のPDFをダウンロードし印刷したもの)もしくは「公式認定証」(原本)を提出してください。「公式認定証」(原本)を提出した場合は選抜試験当日に返却します。</p> <p>②(「デジタル公式認定証」を提出する場合のみ)TOEIC申込サイトトップページの[テスト結果]の右下にある[大学・企業等へのスコア提出]をクリックし、提出先団体選択で申請コード“00032601”(東京工業高等専門学校学生課)を入力し、提出する公開テストのスコアを選択の上、提出してください。</p> <p>*提出方法の詳細は以下を参照すること https://www.iibc-global.org/toEIC/test/lr/guide04/score2.html</p>
入学検定料	<p>本校所定の「入学検定料振込用紙」を使用し、銀行等の窓口で振込手続きをしてください。</p> <p>検定料：16,500円 検定料納入期間：令和6年9月24日(火)～10月2日(水)</p>
その他	<p>現に日本国内に在住する外国人は、次の3点を提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 市区町村長の発行する「住民票」 • 「在留カード」両面の写 • 「国民健康保険証」の写

※入学し願書及び調査書の書式は、本校Webサイトからもダウンロードできます。その際は、A4縦置きで印刷したものを使用してください。

(3) 出願に際しての注意事項

- 出願書類等が不備なものは受理しません。
- 出願書類提出後は、記載事項の変更は一切認めません。
- 受理した出願書類及び検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- 提出した出願書類に事実と異なる記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。

(4) 選抜日程等

試験日	時間	教科等	出題分野・内容等
令和6年10月15日(火)	60分	数 学	微分積分(1変数、2変数、微分方程式を含む)、線形代数
	1名20分程度	面 接	人物評価、専門科目に関する口頭試問

※ 入学者選抜試験は本校キャンパス内で行います。

※ 入学者選抜試験開始時間等の詳細については、出願後に配付する「受験者心得」でお知らせします。

3. 選抜方法

(1) 選抜は、以下の4つの資料を総合して判定します。

- 調査書の内容
- 学力検査(数学)の成績
- 英語能力 TOEIC 公開テストスコアの換算点
- 希望専攻別で行う「面接試験(専門科目による口頭試問を含む)」結果

(2) 学力による選抜の配点比率(100%)

検査項目	配点比率	摘要
学力検査	30%	数学(筆記試験)
英語能力	30%	TOEIC公開テストスコアの換算点
面接	40%	面接は専門科目による口頭試問を含みます。

(3) TOEIC テストのスコアの換算について

- 入学者選抜試験日から起算して、2年以内に取得した TOEIC 公開テストのスコアを以下の換算式により100点満点に換算します。100点以上になる場合は100点とします。(小数点以下切り捨て)
- 換算式 $\text{TOEIC 公開テストスコア} \times 1/5 - 20 = \text{換算点}$
(換算例)

TOEIC 公開テストスコア	400点	450点	500点	550点	600点以上
換算点	60点	70点	80点	90点	100点

4. 合格発表

- 令和6年10月23日(水)に、簡易書留郵便で本人宛に合否及び補欠者の通知文書を発送しますので、到着は1~2日後となります。
- 本校ホームページへの掲載、学内での掲示は行いません。また、電話による合否の問合せには一切応じません。

5. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、令和6年10月31日(木)までに入学確約書を提出してください。期限までに提出しない者は、入学の意志がないものとして取扱います。

東京工業高等専門学校専攻科案内

1. 学位の取得

本校専攻科は、平成 27 年度に大学改革支援・学位授与機構（以下「学位授与機構」という）から、特例適用専攻科（学士の学位の授与に係る特例の適用認定を受けた専攻科）として認定を受けました。

これにより、従来の学生個人が学位授与機構の試験を受けて学位を取得する方式から、学校が専攻科修了見込み者全員分をまとめて学位授与機構に申請し、一括審査される方式に変わりました。

特例適用により学位を取得するには、学位授与機構に認定された本校本科4・5年次と専攻科1・2年次の科目において修得した単位数が所定数を超過していることに加え、学位授与機構による学修総まとめ科目の審査に合格する必要があるため、本校では、2年次に開講される「特別研究」がこれにあたります。

なお、本校以外の高専から専攻科に入学された方は所属高専本科の教育課程が、本校本科を卒業してから数年間が空いている方はその当時の教育課程が、学位授与機構に登録されている本校本科の教育課程と同じ、または同等と認められる必要があります。これに当てはまらない場合は、学生個人が学位授与機構の試験を受けて学位を取得する従来方式となります。

2. 専攻科の特別研究の研究テーマの選択について

特例による学位授与申請を行う学生は、学修総まとめ科目の履修を通じて、自らの専攻に係るテーマを設定して学修・探究を行い、その成果を論文に結実させて、成果の要旨を学位授与機構に提出します。

本校では、「特別研究」が学修総まとめ科目となります。学修総まとめ科目の実施計画書は専攻の区分ごとに決められており、また、自分が取り組みたい研究テーマは、専攻ごとに設定された複数の個表から選ぶことになります。

例えば機械情報システム工学専攻の学生は、機械情報システム工学専攻の個表から研究テーマを選ぶことになります。他の専攻（電気電子工学専攻や物質工学専攻）の個表（研究テーマ）を選ぶことはできません。

3. 入学時に必要な経費

(令和6年度入学生実績)

種別	金額	備考
入学料	84,600円	入学手続き時に納入する。
授業料	117,300円 (前期分)	年額234,600円を2期に分けて納入する。(一括納入も可能)
教科書代	約40,000円	各専攻により別途指定する。

注1) 入学料、授業料については、高等専門学校機構本部からの通知により金額が改正される場合があります。

注2) 在学中に授業料改正が行われた場合は、改正時から新授業料が適用されます。

4. 学料または授業料の免除（減免）及び徴収猶予について

入学料または授業料の免除（減免）及び徴収猶予は、「(1)文部科学省発令の高等教育の修学支援制度」、「(2)独立行政法人国立高等専門学校機構による制度」の2通りがあります。

(1)文部科学省発令の高等教育の修学支援制度について

令和2年度から文部科学省により開始された新しい修学支援制度です。採用された場合、入学料・授業料の減免及び給付奨学金が支給されます。

【対象世帯】

住民税非課税及びそれに準ずる、以下のいずれかの区分に該当する世帯が対象となります。

第Ⅰ区分：本人と生計維持者の市町村民税所得割が非課税であること

第Ⅱ区分：本人と生計維持者の支給算定基準額の合計が100円以上25,600円未満であること

第Ⅲ区分:本人と生計維持者の支給算定基準額の合計が 25,600 円以上 51,300 円未満であること
※1 上記、家計基準の他に学力基準があります。また外国籍の方は在留資格に制限があります。

詳しい内容は以下日本学生支援機構のホームページをご確認ください。

(日本学生支援機構ホームページ)

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/shikaku/zaigaku.html>



※2 減免・支給額は区分により異なります。所得基準を満たすかどうかは、上記、日本学生支援機構のホームページに掲載されている「進学資金シミュレーター」でおおよその確認ができます。

(2)独立行政法人国立高等専門学校機構による制度について

①入学料の免除

(災害等による入学料免除)

[1] 入学前1年以内において、学資負担者が死亡した場合又は入学者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合

[2] 前号に準ずる場合であり、かつ、校長が相当と認める事由がある場合

(私費留学生に対する入学料免除)

経済的理由によって入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者

(その他特別な事由の場合)

入学料を免除することが相当と認められる事由がある場合

②入学料の徴収猶予

[1] 経済的理由によって納付期限までに納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合

[2] 入学前1年以内において、学資負担者が死亡した場合又は当該入学者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、入学料の納付期限までに納付が困難であると認められる場合

[3] その他やむを得ない事由があると認められる場合

③授業料の免除

(災害等による授業料免除)

[1] 授業料の各期の納付期限前6月以内(新入学生に対する入学した日の属する期分の免除に係る場合は、入学前1年以内)において、学資負担者が死亡した場合又は学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合

[2] 前号に準ずる場合であり、かつ、校長が相当と認める事由がある場合

(私費留学生に対する授業料免除)

経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合

(その他特別な事由の場合)

[1] 授業料の各期の納付期限前6月以内において、学資負担者の失職等により著しい家計の急変があった場合

[2] その他授業料を免除することが相当と認められる事由がある場合

④授業料の徴収猶予

[1] 経済的理由によって納付期限までに納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合

[2] 当該学生が行方不明の場合

[3] 学資負担者が死亡した場合又は学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、納付が困難と認められる場合

[4] その他やむを得ない事由があると認められる場合

(1)、(2)の申請希望者は入学前に改めて申請の手続きを配付しますのでそちらをご確認ください。

5. 奨学金制度

日本学生支援機構の規定に基づき、学業・人物ともに優れ、かつ健康であって学費の支弁が困難と認められる者に対し、本人の申請に基づき、選考のうえ奨学金が給付または貸与される制度があります(高専在学中に日本学生支援機構から奨学金を受けていても、改めて申し込むことになります)

6. その他

ご不明な点等については、以下連絡先までお問い合わせください。

独立行政法人 国立高等専門学校機構
東京工業高等専門学校

【連絡先】

〒193-0997 東京都八王子市櫛田町 1220-2

電話(042)668-5127〔学生課教務係〕

※受付時間 祝祭日を除く月～金曜日 9:00～13:00 , 14:00～17:00

以下、出願書類書式の見本です。出願される方は、紙媒体の募集要項と一緒に配付される本紙を使用してください。

※入学志願書と調査書は、本校ホームページからダウンロードしたのも使用することができます。

学力(追加募集)

令和7年度 東京工業高等専門学校 専攻科

入学志願書

志望

機械情報システム工学専攻

※2 専攻詳細 (機械 ・ 情報)

受験番号

※1

氏名

生年月日	昭和・平成 年 月 日	年齢	才
現住所	〒		
電話番号	(自宅) (携帯)		
出身学校 学科名	高等専門学校 短期大学 学科 昭和・平成・令和 年 月 卒業見込 卒業		
外国籍者の国籍			

写真貼付

1. 正面上半身脱帽
2. 大きさ
たて4 cm
よこ3 cm
3. 指定期日以後に
撮影のもの

注意事項

1. 黒又は青色のインキ又はボールペンで正しく記入してください。
2. 年齢は、**令和7年4月1日現在**とします。
3. ※1 受験番号欄は、記入しないでください。
4. ※2 は機械情報システムを志望する者は、機械又は情報いずれかを○で囲んでください。

共通様式

令和7年度 東京工業高等専門学校専攻科

調査書

志望専攻	工学専攻				受験番号	※
フリガナ						
氏名	出身学校		国立	学科		
	学科		公立 私立			
生年月日	昭和・平成	年	月	日	性別	男・女
成績証明書	出身学校所定の用紙を使用し、出身学校長（学長）が作成したものを厳封し添付すること。 また、成績の評価を評定で記入の場合は、下記の右表（「評語の評定基準」）に明示すること。					
学科内席次	1年	人中	位	評語の評定基準		
	2年	人中	位	A	優	点～点
	3年	人中	位	B	良	点～点
	4年	人中	位	C	可	点～点
	5年	人中	位	D	不可	点～点
卒業研究 題目						
卒業研究 要旨						
在学中の 状況	(人物・課外活動・生活態度等を記入する)					
上記のとおり相違ないことを証明する・ 令和 年 月 日 学校名 校長・学長氏名 職印						

(注) ※欄は記入しないでください。

【表】

【裏】

学 力

令和7年度
東京工業高等専門学校 専攻科

受 験 票

受験番号	志望専攻
※	機械情報システム工学
ふりがな 氏 名	
出身学校 (学科)	高等専門学校 短期大学 学科 昭和・平成 年 月 卒業見込 令和 卒業

裏面の「受験票作成上の注意」を読んでから記入すること。

写真貼付

1. 正面上半身脱帽
2. 大きさ
たて4cm
よこ3cm
3. 出願前3ヶ月以内に撮影のもの

受験票作成上の注意

1. 記入に際しては、黒インクのボールペン(フリクションペンは不可)を用いること。
2. ※は、何も記入しないこと。
3. 写真は、裏面にボールペンで氏名を記入し、剥がれないように「のり」を使用して貼り付けること。

受験上の注意

1. 受験者は、必ずこの受験票を携帯すること。受験票を携帯しない者に対しては、受験を許可しないことがある。
2. 「受験者心得」に記載されている時間までに、本校の指定する場所に集合すること。
3. 試験会場では、係員の指示に従うこと。
4. この受験票は、入学手続きの際に必要なになるので、試験後も保管しておくこと。

学力(追加募集)

令和7年度
東京工業高等専門学校 専攻科
学力による選抜(追加募集)

写真票

受験番号	志望専攻
※	機械情報システム工学
ふりがな	
氏名	
出身 学校 (学科)	高等専門学校 短期大学 学科 昭和・平成 年 月 卒業見込 卒業

1. 黒インクのボールペンで正しく記入してください。
2. ※受験番号欄は、記入しないでください。
3. 写真は、裏面に氏名を記入してから、剥がれないように「のり」で貼り付けてください。

写真貼付

1. 正面上半身脱帽
2. 大きさ
たて4cm
よこ3cm
3. 出願前3ヶ月以内に
撮影のもの

東京工業高等専門学校 入学検定料振込用紙

◎ 必ず金融機関の窓口で振込手続きしてください。
ATM(現金自動預払機)は利用不可です。

【ゆうちょ銀行から振り込む場合】

1. 本紙下部①～③は使用しません。ゆうちょ銀行の窓口で「振込依頼書(兼振替払出請求書)」をもらい、受検生本人の氏名で振込手続きを済ませて「振込依頼書(兼振替払出請求書)の控え」を受け取りください。
2. 本紙右側の「④払込証明書」の下に「振込依頼書(兼振替払出請求書)の控え」を重ねて、ホチキス止めして提出ください。

【ゆうちょ銀行以外の金融機関から振り込む場合】

1. 本紙下部①～③の依頼人欄へ受験生本人の氏名等を記入してください。
2. 金融機関の窓口で振込手続きを済ませ、収納印が押印された「①受取書」と「②納入済票」を受け取って「①受取書」は自身で保管してください。
3. 「②納入済票」を「④払込証明書」にのり付けして提出ください。

↓①受取書(受検生が保管)

↓②納入済票(④へ貼る)

↓③振込依頼書(銀行等が保管)

★ 東京工業高等専門学校 入学検定料

④払込証明書

受検番号※	
受検生氏名	

受検生氏名のみ記入してください

【ゆうちょ銀行で振り込んだ場合】

本紙の下に「振込依頼書(兼振替払出請求書)の控え」を重ねて、上部の★部分にホチキス止めしてください

【ゆうちょ銀行以外で振り込んだ場合】

右側の★がある枠内に「②納入済票」をのり付けしてください。

★のり付け箇所

入学検定料 納入済票

(高専提出用)

金	額	¥	1	6	5	0	0	円
---	---	---	---	---	---	---	---	---

(依頼人)受検生氏名

取扱銀行収納印

収納印がある
ことを確認

取扱銀行収納印の無いものは無効です

(取扱店→依頼人)

東京工業高等専門学校 入学検定料

振込金(兼手数料)受取書

年 月 日	
金額	¥ 1 6 5 0 0
先方銀行	株式会社 三菱UFJ銀行本店
受取人	普通預金 1225672 独)国立高等専門学校機構本部
(依頼人) 受検生氏名	
(備考)	手数料

取扱銀行収納印

(取扱店→依頼人)

東京工業高等専門学校

入学検定料 納入済票

(高専提出用)

金	額	¥	1	6	5	0	0	円
---	---	---	---	---	---	---	---	---

(依頼人)受検生氏名

(銀行等で切り離し)

取扱銀行収納印

取扱銀行収納印の無いものは無効です

(取扱店→依頼人)

東京工業高等専門学校 入学検定料

振込依頼書

依頼日	年 月 日	電信	科目					
先方銀行	株式会社三菱UFJ銀行本店	金額	手数料					¥ 1 6 5 0 0
受取人	預金項目 普通預金	内 手 数 料	現金					
	口座番号 1225672		当手 枚					
	独)国立高等専門学校機構本部		他手 枚					
	東京都八王子市東浅川町 701-2							
依頼人	(フリガナ)							
	受検生氏名							
	TEL ()							
	住所							

取扱銀行収納印

(取扱店保管)